

絆
つくり

田んぼアート

フォーラム

を開催しました！

館長によるこれまでの実績報告

11月19日（土）、地域の皆さん約40名の参加により「絆づくり田んぼアートフォーラム」を開催しました。

オープニングは、広瀬市民センター・広瀬文化センターの加藤館長がこれまでの4年間を振り返ってのプレゼンテーションを行いました。続いて、「やまづと研究所」所長の黒田清志さんによる「地域を楽しく元気にする方法」と題した講演をいただきました。

「やまづと」とは山のみやげという意味で、東北の素晴らしい地域資源の発掘や開発、普及・販売の支援を行う個人経営の研究所です。これまでの経験から、今後の「田んぼアート」についてお話いただきました。



これからの「田んぼアート」について



地域の絆づくりと人の輝き・地域の輝きを創りだすことを目指して始まった「田んぼアート」。これからについて積極的な意見交換が行われました。



オープンスペースでは、これまでの4年間を振り返って、活動紹介のパネル展示も行いました。



講演の後には、コーディネーターにフリーアナウンサーの大葉由佳さん、アドバイザーに黒田清志さん、4名のパネリストの皆さんによるパネルディスカッションに移り意見交換を行いました。

パネリストからは、「初めて学生ボランティアとして参加し、皆さんが楽しそうにしているのを十分感じた。企画から運営までを実行委員が全て手づくりで行うことが良い結果を生んでいるのではないか。」といった意見や、「仙台の見て、参加して、楽しむ『お宝』づくりとしての「田んぼアート」。中心部より20分、自然の地形を生かして観覧が出来る最高の立地条件。将来性も十分にあり、いろいろなアイデアや絵柄の選定が大切になって行くのではないか。」といった様々な意見が出ました。

4回の「絆づくり田んぼアート」事業を経て、当初5年を目途に始まったこの事業を、今後どのような手法でどのような方向に進むべきか、熱心な参加者で積極的に考えるフォーラムとなりました。



「田んぼアート」で収穫されたひとめぼれの塩おむすびや色米を焙煎して作られた手づくり茶、色米と豆乳で作ったヨーグルトをご賞味いただきました。